

整数比の考え方

文章題等を解くときの立式をする場合、大きな整数や分数や小数を簡単な整数に置き換えて立式を考える考え方である。

問題：長さが、 0.3 m で、重さが、 0.6 kg の鉄棒の 1 m の重さは、何 kg でしょう。



問題の数値を変えて、簡単な問題にする。



問題：長さが、 3 m で、重さが、 6 kg の鉄棒の 1 m の重さは、何 kg でしょう。



立式する。



$$6 \div 3$$



数値を元の数値に戻す。



$$0.6 \div 0.3$$

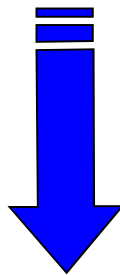


計算をする。



こたえは、 2 kg

いろいろな場面での活用が考えられる。
5・6年では、特に活用範囲が広い。
昔からよく使われている考え方である。



マスターキーとなる